

(様式3)

令和3年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	小俣児童館	所在地	伊勢市小俣町元町662-1
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
設置目的	児童館事業: 児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し情操を豊かにするため 放課後児童クラブ事業: 就労等により昼間保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与えてその健全な育成を図るため		
業務内容	・職員の雇用に関すること ・伊勢市小俣児童館の事業に関すること ・伊勢市小俣放課後児童クラブの事業に関すること ・施設及び設備の維持管理に関すること(清掃業務、警備業務、施設等修繕業務 等) ・伊勢市小俣放課後児童クラブ第2及び第3の業務委託を別途受託できること ・その他業務に関すること(危機管理及び個人情報保護、守秘義務、情報公開 等)		
施設概要	平成3年4月完成 敷地面積419㎡、建築面積157.74㎡、延べ床面積257.72㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 定員70名		
職員体制	館長 兼 放課後児童支援員	1名	
	児童の遊びを指導する者 兼 放課後児童支援員	15名	
	補助員	6名	
施設所管課名	子育て応援課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	18,899,000	19,498,000	20,123,000	625,000
		利用料金	3,923,600	3,682,700	4,018,100	335,400
		その他	1,946,479	2,099,840	3,753,006	1,653,166
		計(a)	24,769,079	25,280,540	27,894,106	2,613,566
	支出	人件費	20,170,539	17,461,394	16,842,659	△ 618,735
		管理運営費	3,727,647	3,697,825	4,643,429	945,604
		その他	322,605	63,156	1,028,918	965,762
		計(b)	24,220,791	21,222,375	22,515,006	1,292,631
	収支差引額(a)-(b)		548,288	4,058,165	5,379,100	1,320,935

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	指定管理料の増については、障がい児受入に係る業務委託料の増である。後半利用者が減となってしまったことにより、人件費等も減となった。
----------------------------------	---

3 評価（別表様式4に基づく総合評価）

指定管理者	市
<p>事業計画書に従った管理を行った。</p> <p>コロナ禍において児童館が休館を余儀なくされたこともあったが、感染対策を徹底し留意した結果、児童館の来館者数が昨年度より増となった。</p> <p>放課後児童クラブは、緊急事態宣言中も小学校でコロナ感染者が拡大した時もコロナ感染予防対策を整えた上で、開所し続け、働く保護者に寄り添った。</p> <p>児童館の行事としては、コロナ感染予防対策を整えた上で工作教室、おはなし会、ドッジボール大会等を開催し、「子どもたちの笑顔」を目標に、2部制や3部制にしながらも、前向きに取り組んだ。</p> <p>「児童館まつり」は時期をずらし、3部制にして開催した。2年ぶりと言うこともあってか、子ども達や保護者から大変喜ばれた。時間制限を実施し、飲食物もなく、通常より規模は小さくはなったが、「子ども達の笑顔」を見ることができた。また、防災体験として「地震体験車」で「震度6」の地震を体験し「防災を考える機会」となることを期待した。</p> <p>「ハロウィンイベント」も2年ぶりに開催できた。近隣住民のお宅を回つてと言うことはできなかったが、小学校の体育館をお借りして、地域を回りながら楽しむことができた。可愛い衣装の子ども達が地域を歩き回っていた。</p> <p>児童館まつり、ハロウィンとも明野高校の生徒はじめ、皇學館大学の皆さん、民生委員、児童委員の皆さんやボランティアの皆さんのご協力の下開催することができた。</p> <p>ボランティアによる、陶芸教室や茶道教室は、2部制にしたり、三密に留意しながら開催し、高齢の方たちと交流したり、茶道教室の中でお茶の点て方や作法等学ぶことができた。</p> <p>令和2年度はできなかった夏恒例の「ききだめし大会」も皇學館大学の生徒の皆さんのご協力により開催することができた。4部制にし、感染予防対策を整え開催したが、予想を上回る希望者があり「キヤーキヤー」言いながら笑っている子や泣いてしまった子もいたが、大いに盛り上がった。</p> <p>星空観察会は緊急事態宣言により、8月を10月に延期し開催した。小学校校庭から、三密に配慮しながら土星や月を天体望遠鏡で観察した。秋は空気が澄み、星が一層輝きを増し、魅惑的な夜空を保護者も加わり親子で魅了されていた。</p> <p>みえこどもの城の移動児童館によるカプラ大会や工作教室は、2部制にし人数制限しながら開催した。</p> <p>令和元年から月1回、孤食化や貧困家庭を視野に入れつつ、民生委員や地域住民、明野高校生徒のボランティアのご協力の下開催してきた「児童館食堂」は、緊急事態宣言等もあり、開催は7回（テイクアウト限定開催含む）となったが、環境を整えた上で継続できるよう努力した。</p> <p>皇學館大学ボランティアのご協力の下開催している「クラブ☆よさこい」も、町内のまつりすべてが中止となってしまった。予定していた児童館の発表会も中止となり、披露する場はなくなってしまったが、楽しく練習していた子ども達だった。</p> <p>幼児親子から小学生を対象にした「リトミック教室」や「キッズダンス教室」もコロナの影響で延期にはなったが、開催し親子ともに楽しんでいただけた。</p> <p>放課後児童クラブとして、毎月の誕生会や習字教室や年末のクリスマス会等は、合同ではできなくなってしまったが、各クラブで開催し児童、保護者共に喜んでいただいた。</p> <p>今年度新規事業として働く保護者の負担軽減を考え、「らくらくランチサービス」と称し、ワンコイン500円にて日替わり宅配弁当を提供した。保護者、児童共に大変喜ばれた。</p> <p>年間を通し身の安全を守る対処の方法、防災、防犯の意識を向上させるため、児童館、放課後児童クラブともに災害や防犯に備えた避難訓練を月1回実施した。</p> <p>職員の資質の向上のため研修会に参加したり各自が自己研鑽に励んだ。</p> <p>今後も児童、保護者のニーズに沿った事業等を開催していきたい。</p>	<p>施設の管理については適正に行われていた。</p> <p>事業については、新型コロナウイルス感染対策により活動の制限が進んでしまったが、その中でもできることを模索し、形を変えて実施し、利用者や保護者から好評を得ていることは評価できる。</p> <p>「児童館まつり」・「地震体験車」・「ハロウィンイベント」などの行事や児童館食堂のテイクアウトやボランティアによる陶芸教室や茶道教室など、コロナ禍でも事業を成功させていることは大きく評価できる。</p> <p>安全管理についての意識も高く、引き続き防災・防犯に備えた訓練や安全管理の徹底に努められた。</p> <p>また、市へのホウ・レン・ソウも逐一あり、現場の意向をすぐに把握できる体制にあることは評価したい。</p> <p>今後も様々な取り組みを継続していただき、利用者のニーズに沿ったサービスが提供できるよう期待したい。</p>

指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的や基本方針を理解し管理を行った。	A	施設の目的や基本方針については事業計画書にも記載があり、日々の業務にも理解の程が見受けられた。	
	②施設設置目的の達成度	A	児童に健全な遊びを与え、健康を増進し情操を豊かにする施設として、円滑な運営を行った。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。	
	③利用者数	A	臨時休館を余儀なくされたこともあったが、令和2年度の児童館の利用者が2,770人であったのに対し、令和3年度は3,246人であり、約500人の増となった。行事等を延期や3部制等にしながらも「子どもたちの笑顔」のため前向きに、何とか開催しようと努力した結果であると考えられる。 前年度と比較して「利用者増」を目標としてきたため、目標は達せられたと思われる。	A	新型コロナウイルス感染症による閉館等により活動が制限され、また、利用者側の自粛もあった。今後もしばらくは一定の対策を講じながらの活動となるため、コロナ禍でもできることを実施されたい。	
	④運営状況	A	令和元年度の児童館会館日数は270日。今年度は264日であった。コロナウイルス感染予防対策により休館日があったため例年よりは減となっている。児童館開館時間は11時～18時。児童クラブ開館日は293日であり、就労している保護者に寄り添い、コロナウイルスによる閉館日はなく、4月1日から学校休校日においても開館し長時間保育を行った。放課後児童クラブ開館時間は放課後～18時。土曜、長期休業日8時～18時まで開館した。	A	法令等に定められている時間どおり運営された。また、警報発令時や新型コロナウイルスの感染防止対策期間については臨時休館にするなど、適切な運営がなされた。	
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったか。また、業務執行体制(作業責任者・業務担当者)は明確になっていたか。	A	勤務体制としても効率化を図りながら、新型コロナウイルス感染防止に取り組むことができた。	
	⑥意思疎通	A	管理運営業務全般について、市と指定管理者の責任者の間で十分な連絡調整がなされていたか。	A	随時子育て応援課と連絡を取り、連絡調整を行った。また、月報および配布物等を市へ提出し、業務全体が把握できるよう対応した。	
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	毎日業務日誌報告書に各種記録を記入し、決裁後保管を適正に行なった。	
	⑧地域の振興	A	地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域の振興が図れていたか。	A	令和2年度できなかった「児童館まつり」「ハロウィンイベント」「きもだめし大会を開催した。いずれも、予想を上回る参加希望者があり、3部制等にしながら感染予防対策を整え開催したことで、児童、保護者共に喜んでいただいた。幼児から大人までの方々が参加していただき、児童たちの笑顔に触れることができた。「ハロウィン」については地域のお宅を1軒1軒お邪魔はできなかったものの、地域住民もイベントに参加しながら、参加者を見守っていただき、仮装した子ども達が歩き回った。 月1回開催予定の「児童館食堂」は、子どもの孤食化や貧困家庭を視野に入れつつ、地域の方々にカレーを無料で提供し喜ばれた。テイクアウトを取り入れながら、中止になったときもあったが、継続することを目標に前向きに取り組んだ。 皇学館大学のボランティアによる「クラブ☆よさこい」も町内の「まつり」はすべて中止。予定していた児童館の発表会も中止となったが、日々の練習を楽しんでいた。 明野高校、皇学館大学、民生委員、児童委員、ボランティアの方々にご協力いただきながら数々の行事を開催できたことは、良好な関係が築かれていると思っている。	A

指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
施設設置目的の達成	⑨使用許可等	使用許可等申請が適正に行なわれていたか。	A	使用許可等申請の取扱は個人情報の点からも適正、慎重に行った。	A	使用許可書等申請の取扱は適正に行われていた。
	⑩利用料金等の徴収状況	徴収、減免、還付等は帳簿等が作成され、適正に行なわれていたか。	A	代金回収サービスを活用し、利用者に負担のかからない方法で行えた。医療費受給者資格がある保護者には減免をおこない、帳簿を作成し適正に行うことができた。	A	帳簿は適正に作成され、整理も行われていた。
	⑪個人情報	個人情報の取扱いがきちんとなされていたか。	A	パソコン等の保管方法や名簿等の個人情報の取扱いは慎重に行うため施錠できる引き出しへ保管した。また、ブログ等に写真を掲載する際にも注意書きをし、配慮している。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、情報流出防止に努めている。
	⑫法令遵守	関係法令を遵守していたか。	A	地方自治法、児童福祉法や児童館ガイドライン等各種法令を理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	利用者数の増加や利便性を高めるための具体的な取り組みが行なわれていたか。	A	臨時休館を余儀なくされたものの、令和2年度できなかった「児童館まつり」「ハロウィンイベント」「きもだめし大会」を環境を整うた上で開催したことにより、利用者増につながったと考える。「児童館食堂」も7回になってしまったが、コロナ禍におけるイベント等のあり方を検討し、対策を完全に期した上で、「子ども達や地域の方々に喜んでいただきたいの思いから、イベントを前向きに開催し続ける努力を継続した。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が制限されていたが、できることを考え、取り組みできた。今後も引き続きコロナ禍におけるイベント等について、今後も一定程度の対策をしながら遂行していただきたい。
	②利用者の平等な利用	個々のサービスについて、対応職員によって格差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取り組みを行なったか。	B	サービスの水準を確保するため、業務日誌や連絡ノートでの情報の共有を図ったり、月1回のミーティング等や随時職員間で話し合ったり、研修に参加したり、適切な対応ができるよう努めた。新規職員もあり、常勤職員と非常勤職員との対応に差が生じないように、できる限り情報の共有に努め、利用者にとって一定のサービスの水準を確保するよう努力した。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。
	③適切な情報提供	全ての利用者が情報を得ることができるよう適切な利用情報の提供を行なったか。	A	児童館だよりや児童クラブだよりを始め、マメールでの情報提供、チラシやホームページを利用した情報提供を行った。また、放課後児童クラブ役員には、情報をいち早く提供し、相談しながら児童の育成に努めた。	A	効果的な情報提供を行っている。
	④非常時・緊急時の対応	緊急時のマニュアルが整備され、従業員訓練の実施や事故発生時・緊急時の対応は適切か。	A	社協職員用の緊急時のマニュアルを常備し緊急時に備えるようにし、児童には火災、地震、防犯等毎月テーマを決めた避難訓練を毎月実施して意識付けを行った。	A	毎月テーマを決めて、適切に行われていた。
	⑤苦情解決体制及び対応	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見、苦情に対しては、迅速かつ丁寧な対応を心がけている。事故に関しては、「児童安全共済」「児童クラブ共済」を利用し、丁寧に説明し対応している。また、再発防止策や予防策を立て、安全確保に努めている。その結果児童館、児童クラブ共に0件であった。	A	適切な対応ができる体制ができています。また、事故発生時も保護者、市へ遅滞なく報告・対応しており、適切であった。

指定管理業務の項目別評価表

施設名

小俣児童館

評価項目		評価			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
サービスの質の向上	⑥自主事業	A	毎年満足度調査を実施し、利用者のニーズの把握に心がけた。令和2年度開催できなかった「児童館まつり」や「ハロウィンイベント」「きだめし大会」を開催した。予想を上回る参加希望者がありニーズに即した事業のいくつかが開催できたと考える。「児童館食堂」も中止になることもあったが、子どもたちの孤食化や貧困家庭等のことも念頭に継続し続けることができた。各種事業において、地域の高校、大学や民生委員、児童委員等のご協力の下開催できた事業であり、「地域の中での児童館」を改めて感じる事ができた。新規事業として、「防災体験」として「地震体験車」で「震度6」の地震を体験し「防災を考える機会」になってくれることを期待する。クラブの事業として、「習字教室」や働く保護者の負担軽減を考え「らくらくランチサービス」と称し、宅配弁当を取り入れたことは大変喜ばれた。コロナ禍においても、できる限りニーズに即した事業を心がけた。今後もコロナに屈することなく、新たな取り組みにチャレンジしていきたい。	A	新型コロナウイルス感染症の影響を受け活動が制限されていたが、多岐にわたる事業を実施し、利用ニーズに応えている。今後も引き続きコロナ禍における事業を検討し、今後も一定程度の対策をしながら遂行していただきたい。
	⑦事業の評価	A	児童館まつりや各行事においては、事前ミーティング、反省会等、打ち合わせや確認見直し等もやっている。また、他の事業についても、事業報告書等を作成し次年度へつなげている。	A	指定管理者側での確認、見直しが行われている。また、反省点等はすぐに確認し、改善を行っている。
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	建物・設備・植栽等が適切に管理され、安全性の確保、良好な機能及び美観の保持がされていたか。	A	安全チェックシートを用いて、毎月点検し、異常が発生した場合は速やかに対応した。また、月報や日誌にも記録している。
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	備品について丁寧な扱いを心がけ、破損、紛失等がなかった。
	③修繕業務	A	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	異常があった場合は、速やかに対応を行ない、月報や日誌に記録をとった。また、速やかに伊勢市に報告を行った。
	④清掃業務	A	清掃は適切に行なわれていたか。	A	児童や職員ともに毎日掃除を行っている。その他、年末の大掃除に加え、季節ごとに職員が掃除を行った。
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は事務室に一括保管し管理している。館内にはセコムによる緊急通報装置を設置。委託期間中に防犯に関する問題はなかった。